

## 就労支援センターりぼん

### 1) R7年7～9月の実績報告

1日あたり利用人数            7月 21件    8月 17件    9月 21件  
 登録者                                    562人（9月末現在）

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	計
7～9月就職者	0	3	2	0	5
7～9月離職者	2	4	4	0	10
前月までの就職者	36	172	140	2	350
合計	34	171	138	2	345

（9月末現在）

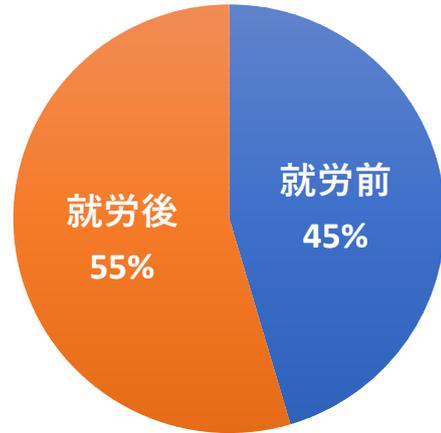
### 2) 支援内容

①	経緯と今後の支援
入職	知的障害者の女性1名は、市内のA型施設で学校在学時から実習を行い、働くことになった。精神障害者の女性1名は、B型施設を利用しながらりぼんとの面談を重ね、高齢者施設の清掃の仕事に就く。今後は定着支援事業を利用する方向となるため、これからも施設と連携していく。
離職	身体障害者の男性2名のうち、1名は上司との関係が上手くいかず、もう1名は障害の悪化により退職する。知的障害者の男性1名は職場と合わず、女性1名は体調不良により退職。精神障害者の男性1名は、体調不良により勤怠の不安定さが続き退職。今後はそれぞれの状況を見ながら方向性を検討していく。
転居	精神障害者の1名は、近隣市の市役所に就職し事務職として働いていた中で通勤がしやすい近隣市に転居することになった。そのため、所在地にある就労支援センターへ引き継ぐ。
転職	知的障害者の男性2名と精神障害者の1名は、それぞれ高齢者施設、運輸業、卸売業で働いていたが、障害者雇用支援ビジネスが行っているコーヒー豆の焙煎関係の仕事に転職する。今後は面談を中心とした定着支援をしていく。

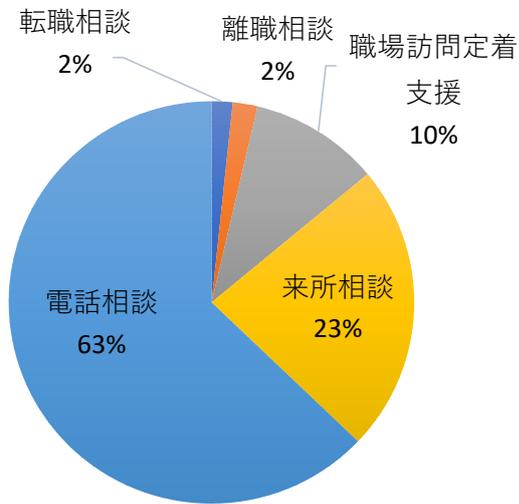
- ② 7～9月は、特別支援学校の卒業予定者向けの登録説明会や夏休みを利用して卒業予定者と保護者との面談が行われたことにより、登録者の面談の予定を先に延ばして協力してもらったことから1日当たりの件数が少ない月もあったが、電話やメールでの相談は相変わらず多い。登録者からの相談の電話やメールだけでなく、関係機関などもタイムリーな情報共有は電話やメールが多いため、記録の残し方が課題となっている。また、卒業予定者に対しては、今年度から面談だけでなく今後行われる企業実習に訪問させてもらい、卒業後スムーズに支援に入れるように関係性の構築や企業・学校との連携を図っていきたい。
- ③ 7～9月にかけて、障害者就労支援機関情報交換会と西部圏域就労支援センター情報交換会が行われ、どちらも前回同様就労選択支援事業について取り上げられた。障害者就労支援機関情報交換会では、就労移行支援事業所が手を挙げている話が多かったが、圏域では部会で話を進めていたり、行政中心で話を進めているところもあった。西部圏域就労支援センター情報交換会でも自立支援協議会の部会で取り上げたりしている市があった。しかし、全体的には制度への理解や準備に課題があるという話になった。

大分類	小分類	計
就労前に関する支援	訪問相談	13
	来所相談	189
	電話相談	268
	就労準備・面接指導等	5
	同行・企業見学	2
	職場開拓	14
547	職場実習	56
関する後支援	転職相談	11
	離職相談	13
	職場訪問定着支援	68
	来所相談	152
657	電話相談	413
その他	会議等(ケース会議以外)	6

就労前後の支援割合



就労者の支援内容



就労前の支援内容

